

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (甲信越)	◎	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者も無症状者が多くなり、人流も増えてくると思われる。
	◎	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者は多い状態のままだが、Withコロナが浸透してきているのか、感染対策をしながら旅行を楽しむ方が増えている。県民割などの効果もあって、客の来館が徐々に回復してきている。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・今年に入ってから葬儀依頼が多い。墓じまいや永代供養墓の利用も多い。今月も粉骨してお墓の中をきれいに整理している。
	○	スーパー（経営者）	・大規模イベントやコンサートも100%の収容人数で行われるようになると、これからイベントが多くなるので、忙しくなる。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況もやや落ち着きつつあるが、流れとしては、経済的なことが優先されるので、宴会や会合等、いろいろな場面で飲食の機会が増えてきて、若干上向いてくるのではないかと。
	○	一般レストラン（経営者）	・現状、新型コロナウイルスオミクロン株がインフルエンザ並みの扱いになりつつある。今後、恐ろしい株に変異しないことを願う。
	○	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増減を繰り返すと思うが、ワクチン効果でリスクが下がってきたので、普通の生活ができるようになってきている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・今までより、日々の新型コロナウイルス新規感染者数が非常に多いにもかかわらず、予約やフリー利用は好調である。ワクチン接種や新規感染者数に右往左往していた時期と比較して、明らかに状況が変わっている。自粛ではなく、制限のない生活へとマインドが変わりつつあると感じている。個人利用も、ほぼ新型コロナウイルス禍前と同様な推移がそれ以上であり、法人、団体予約も増加傾向にあるので、確実に良くなっていく。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・企業関係の一般宴会や懇親会は、企業によっては「参加者全員が抗原検査を受けて、リアルで開催しよう」というところも出てきている。新型コロナウイルスが発生してから3年目に突入しているが、3年目にもなると、企業側も対面での集まりを望んでいるようである。
	○	観光名所（職員）	・新型コロナウイルス前には及ばないものの、客足が戻ってきている。予約も堅調に伸びている。
	○	遊園地（職員）	・引き続き、新型コロナウイルスの影響が懸念されるが、感染対策を徹底して万全な受入体制を整えるとともに、積極的に集客施策実施や情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
	□	商店街（代表者）	・先行きは全く分からない。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスが感染拡大した2年の間に、スポーツ関係は、かなり運動の仕方も変わっている。以前は地元でナイターとか早朝野球等、いろいろ行われていたが、今は全てが停止している。今後、スポーツがどのような形で復旧して、再び盛んになるかということが心配でならない。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・季節商材の動きが気になるところだが、値上げや商材不足があるなかで、消費者にどのような選択をしてもらい、どのような施策をして購入してもらおうか、思案のしどころである。購買意欲が出るような状況になることを願うばかりだが、先行き不透明感もある。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・良くなってくる要素がなかなか見つからない。
	□	百貨店（店長）	・現状は新型コロナウイルスの今後の予測がつかないことや物価の上昇傾向、株価下落トレンド等から、なかなか回復は難しい。催事等を以前と同じ様に開催しているが、売上は厳しい。2～3か月先に上向くような新たな施策も余りない。
□	衣料品専門店（経営者）	・良くなるとは思えない。	
□	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスがまん延して以降、景気が回復していない。世界情勢に対する不安もある。	
□	一般レストラン（経営者）	・現状の好影響は6月の祭礼終了までは期待できそうである。その後は反動が出てくるように感じている。	

□	スナック（経営者）	・これから少しずつ暖かくなってくるので、多少、人の動きはあるとは思いますが、基本的にこの新型コロナウイルスが収束しないことには、厳しい状況は続く。段々と皆が新型コロナウイルス疲れからか「どうでもいい」という感じで、少しずつ飲みに出てくる客も増えてきているので、多少は良くなると思うが、大きな変化は余り期待できそうにない。
□	旅行代理店（副支店長）	・旅行業界は、新型コロナウイルスの事情に大きく左右されるが、まず個人客が動き出し、その後はグループ、団体につながって需要が増加すると捉えている。しかし、世界情勢の混乱から企業等の業績悪化も見据えると、プラスマイナスゼロの変化なしが妥当と考える
□	通信会社（経営者）	・いまだ世間には悪い要因が多く不安定なため、このまま良い方向に進んでいくとは考えにくい。
□	通信会社（社員）	・年度替わりの慌ただしさも落ち着き、問合せや新規加入が増えていく材料に乏しい。
□	設計事務所（職員）	・今後数か月は、同じ状況が続くと思われる。
□	住宅販売会社（経営者）	・建築資材価格の高騰で建物価格も上昇しており、今後の新規別荘建築にブレーキがかかる恐れがある。
▲	百貨店（営業担当）	・原油から始まって、ガソリン等いろいろな物の値上げが目白押しなので、消費には慎重にならざるを得ない。
▲	スーパー（経営者）	・円安、原油高、中国での新型コロナウイルスの感染拡大、穀物を始めとした原料価格高騰の一方で、賃金増加は限定的で消費は慎重にならざるを得ない。
▲	コンビニ（経営者）	・ウクライナの戦争等で物価が上昇してきたら、客も節約してくると思う。
▲	コンビニ（経営者）	・近隣にバイパス道路が開通し、当店への来客数が減少している。
▲	コンビニ（経営者）	・水道光熱費の値上がりやガソリン価格高騰に伴い、生活がひっ迫してくると、客の買上点数も減ってくるのではないかと。本当に必要な物しか買わなくなる等、影響はある。
▲	コンビニ（店長）	・各種の値上げや今回の侵攻があつて、いろいろ難しくなっている影響が、いよいよ出てくる頃ではないかと感じている。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新車供給遅れの拡大に伴い、納期の不透明な状態が長く続くことで、これまで順調だった受注にも影響が出るのが懸念される。
▲	自動車備品販売店（従業員）	・中国の都市で新型コロナウイルスによるロックダウン等もあり、この先更に部品不足による商材不足が予想されるため、景気はやや悪くなる。
▲	その他専門店〔酒〕（店長）	・3か月前よりは現状、商売は良くなってきているが、ガソリン代の高騰や物価上昇もある。当店は日本酒を中心に営業しているが、3か月後には非常に厳しくなるのではないかと考えている。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・この先の宿泊数の変動をみると、やや悪くなる。
▲	タクシー運転手	・県内の名刹で7年に1度の大会祭りが始まって、県内各地で同様の祭りが行われている。また、名刹の祭礼もある。人の出入りが今、相当多くなっているので、これからまた、新型コロナウイルスの感染拡大第7波と、新規感染者が増えてくると予想されるので、また悪い影響が出てくる。
▲	ゴルフ場（経営者）	・ロシアに対する経済制裁と緊縮財政の影響が、徐々に響いてくるのではないかと。需給ギャップを埋めるべく積極財政が求められていると考える。
▲	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者が減少し、3回目のワクチン接種が進んで治療薬も普及してくれば良くなっていくと思うが、まだまだ楽観視はできない。
×	スーパー（店長）	・様々な物価が上昇し、生活防衛意識が高まる。
×	コンビニ（エリア担当）	・水道高熱費や物価の高騰等を含めて、良くなる兆しがない。
×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス禍がいつまでも続いていて、ウクライナの戦争にもかなり影響を受けている。また、物価高も大変で、消費には向いていない。

	×	スナック（経営者）	・毎回同じような回答になるが、本当に良くなる要素が見当たらない。他のところはよく分からないが、皆どう思っているのか。回答結果を送ってもらったのをみても、私たちのような本当に小さな店のことはよく分からないが、本当に困っている。物価上昇、賃金低下、良いところがない。何とかしてほしい。
企業 動向 関連  (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体不足のため、引き合いが増加している。
	○	食料品製造業（営業統括）	・急激な円安により、輸入ワインの価格が上昇している。需要は抑えられる反面、東南アジアへの輸出が期待できる。
	○	建設業（経営者）	・ウクライナ問題は別だが、新型コロナウイルス新規感染者減少が続いており、受注実績は増加傾向にある。
	□	食料品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスやウクライナ情勢の影響もあり、景気は不透明である。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・個人的なことだが、けがの治療とリハビリで、しばらく現場復帰できずにいる。1人で業務全てを行っているので、生産やワークショップの対応もできず、非常に厳しい状況である。このようなケースにも耐え得る経営体力を備えなければならないが、近年の受注状況ではその余裕すらない。
	□	金融業（調査担当）	・ウクライナ情勢や円安等、不透明な環境が続く見通しであり、企業マインドも慎重になるとみている。
	□	金融業（経営企画担当）	・新型コロナウイルスの問題に加え、ウクライナ戦争が長期化する可能性が出てきていることで、景気に悪影響が出る可能性がある。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・先行きは良くなっていくと考えているものの、3か月という短期間で考えると、現状から悪くはならないと思うが、大きく好転するとも考えにくい。やはり、新型コロナウイルスや世界情勢の先行きははっきりしないと、企業や個人も前向きな方向へはいかない。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・円安による輸入価格の上昇が利益を圧迫している。上昇の都度、価格反映できるわけではないため、どこまで影響が続くか不透明である。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・再度部品が滞ることが懸念される。新電力小売業から撤退する事業者があり、将来が見通せない。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・原材料価格の高騰や部品不足が続き、収益を圧迫している。また、中国の都市のロックダウン、ロシア、ウクライナ問題が悪影響となり、これからも増大しそうである。
	×	食料品製造業（製造担当）	・原材料や副資材、器具を洗うスポンジ、洗剤等、全てが値上がりしている。まだ商材原価に転嫁できていない状態で、納入が遅れてくると相当に追い込まれる。とても利益を出せる状態にない。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・受注が減って単価が下がり、資金繰りが大変である。
×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・円安による輸入材料の高騰は、商材作りを難しくしている。当面は海外での展示会出展もできないなかで、手詰まり状態が続く。	
雇用 関連  (甲信越)	◎	—	—
	○	*	*
	□	人材派遣会社（営業担当）	・物価上昇のため、消費意欲は上がらないと思うが、食材等への無駄遣いをしないという意識が今まで以上に働くだらう。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス関連で経済が回り始めているが、ゴールデンウィーク明けの感染拡大の可能性も残っているため、状況的には変わらない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・急激な円安やウクライナ危機を懸念して、固定費が増加する正社員採用には慎重な姿勢が目立つ。有期の契約社員への切替えを大胆に進める大手企業が出始めている。
	▲	—	—
	×	—	—